

我孫子市消費者の会

お知らせ

2023年5月17日 第49期 No. 2-562

事務局 〒270-1143 我孫子市天王台3-7-1-201 和田三千代方 TEL 04-7183-1434

<http://www.abikoshi-syohisyanokai.net/wp/>

田植えが終わったばかりの水田にツバメが飛び交い、気持ちの良い季節になりました。皆様、お元気にお過ごしでしょうか。

49期総会・5月定例会 終了

日時 5月1日(月) 13:30~16:00

会場 我孫子南近隣センター 第1会議室

出席者 24名

総会は議長の遠藤洋子さんの進行により、資料に沿って検討をいただき全て可決されました。なお、名簿に間違いがありました。お詫びし、訂正いたします。

<訂正> p.9 (誤) 伊勢俊江
(正) 伊勢利江

休憩の後、定例会が行われ、レジュメに沿って今後の活動を検討しました。

特に①50周年事業について ②見学会 ③福島を忘れない旅をどうするか ④DVD「希望の給食」の上映会についてなどが検討され、いずれもできる限り実施する方向となりました。②③については「どこでもいいから行きたい！」という声もあがり、大笑いになりました。クリーンセンターも新しくなりましたので、近い内に見学をすることも検討中です。

和田会長、手術後も順調に回復

4月定例会では和田さんご自身から説明がありましたが、乳がんが見つかり、4月24日に慈恵医大に入院し、25日に手術をされました。左右両方の手術だったので6時間もかかったとのことでした。2週間の入院の間に歩行訓練などのリハビリを行ない、予定通り退院されまし

た。その後、あらきのお家で食事と入浴のお世話を受けて日常生活に戻り、20日にはご自宅に戻る予定です。「皆様にご心配をおかけしました。少し脇を引っ張られる感じがするけれど、無事に帰ってこられました。ありがとうございます。」との伝言です。

乳がんは自分で触診ができるので、皆様もどうぞ気を配り、おかしいなと思ったら早めに診てもらってください。

6月定例会

日時：6月5日(月) 13:30~

会場：我孫子南近隣センター8F 調理室

*DVD「希望の給食～食と農がつむぐ自治と民主主義」(42分)も上映。

2023年度 消費生活展について

2023年度の第1回実行委員会が、4月20日に開かれ、下記のように決まりました。

実行委員長 渡辺康子さん(エコピュアあびこ)

副実行委員長 中村治子さん(消費者の会)

メインテーマ 持続可能な社会をめざして
～みんなで進めようSDGs～

(副題のみ変更)

<開催日>

第48回消費生活展 2月3日~4日(市民プラザ)

第47回消費生活パネル展 8月1日~8月10日

(アビスタストリート)

会費未納の方は納めてください

お近くの役員、運営委員の方へお届けください。

美手連 デジタル教材7作品の発表会

美しい手賀沼を愛する市民の連合会（略称：美手連）では、次世代を育てる環境教育の一環として、構成団体が持つ情報や調査研究成果を集めて、先生や子どもたちが授業で使用できるようにデジタル教材づくりのプロジェクトに取り組んでいます。

2022年度は7作品が完成し、柏市教育委員会と我孫子市教育委員会に贈呈しました。その7作品を発表します。どなたでもご覧いただけます。是非おいでください。無料。

日時：6月10日（土）14：30～

会場：水の館 3階 研修室

【発表作品】（どれも10～15分）

① 手賀沼をうつくしく～せっけん物語～
（我孫子市消費者の会）

② 手賀沼むかしものがたり
（流山博物館友の会）

③ 船戸の森のおはなし（船戸の森の会）

④ 手賀沼周辺のデジタル野鳥図鑑
（我孫子野鳥を守る会）

⑤ デジタル紙芝居スズメさんの見聞記
（我孫子野鳥を守る会）

⑥ 東葛周辺のトンボ写真集
（我孫子野鳥を守る会）

⑦ 手賀沼流域のこまった水草
（美手連デジ制作PT 運営事務局）

*2023年度はさらに7団体が、作品制作にとりかかる予定です。

「原発をとめた裁判長 そして原発をとめる農家たち」上映&監督トーク

2014年、関西電力大飯原発の運転停止命令をだした樋口英明・福井地裁元裁判長の明快な理論。福島でソーラーシェアリングする若き農業者たちのふるさとへの思い。

「さようなら原発」あびこ主催の自主映画上映会です。詳細は次回、チラシで。

7月2日（日）14時～あびこ市民プラザ

室山哲也さんの講演会から ～持続可能社会をどう創るか～

4月17日に県の消費者センター（南船橋）で千葉県消費者団体連絡協議会（略称：消連協）主催で上記テーマの講演会が開かれ、当会からは10名が参加しました。簡単に報告します。

人類滅亡の12のシナリオがある。パンデミック（新興感染症）、気候変動、核戦争など。そうならないために人類全体で解決しようと2015年にSDGsが国連加盟国の全会一致で採択された。

これは長丁場であることを覚悟して行なっていくかねばならない。今の人にとってはやってもやらなくてもあまり変化のないことだが、子どもや孫にとっては大変な事なのだという想像力が問われている。

途上国と先進国などそれぞれの国には事情があるが、人類全体で解決しないといけない。社会構造を変えないと間に合わない。国益が地球益に反することもある。そんな時には強い交渉力が必要。

以前は環境か経済かだった。しかし、環境も経済も福祉もと「3方よし」でないと解決できない。そこに「地球よし、未来よし」を加える。

すべては大本で繋がっている。どこから入ってもいい。自分に向いている所から入れればいい。

自然エネルギーには潜在力がある。太陽光パネルは森林などの環境破壊が起きない場所、たとえば、最終処分場、公共建築物の屋根、貯水池、農地・耕作放棄地などに設置。塗れる、曲がるペロブスカイト型太陽光電池。洋上風力と漁場問題は風レンズで解決。都市は宝の山。ごみや下水の温度利用ができる。地熱発電でグリーン水素も。

持続可能な社会として国連から表彰された村がある。村人はSDGsを知らないが、昔から「里山」で自然と共存して暮らしてきた。里山型エコシティーは可能だ。整理しながら、政策と教育のめざす旗が上がっていれば日本もできる。

（今号は加藤が代行）